【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成17年12月22日(2005.12.22)

【公表番号】特表2004-533275(P2004-533275A)
【公表日】平成16年11月4日(2004.11.4)
【年通号数】公開・登録公報2004-043
【出願番号】特願2002-545769(P2002-545769)
【国際特許分類第７版】
　Ａ６１Ｍ　37/00
【ＦＩ】
　Ａ６１Ｍ　37/00

【手続補正書】
【提出日】平成16年11月16日(2004.11.16)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
リザーバ、流入口、膨張制御チャンネル、および流出口を規定するプラグを含む薬物送達装置であって、該膨張制御チャンネルがリザーバに保持された薬物製剤の熱膨張に対応し、リザーバからの熱膨張した製剤の漏出を妨げるために十分な容積を備えており、さらに、該リザーバから該プラグを通って該薬物送達装置を出る流路が、該流入口と該膨張制御チャンネルと該流出口とによって規定される装置。
【請求項２】
以下を含む、請求項1記載の装置：
内側プラグ部品；および
外側プラグ部品。
【請求項３】
内側プラグ部品を収容するように外側プラグ部品が適合された、請求項2記載の装置。
【請求項４】
内側プラグ部品が膨張制御チャンネル内で滑動可能である、請求項2記載の装置。
【請求項５】
膨張制御チャンネルが外側プラグ部品によって規定される、請求項2記載の装置。
【請求項６】
膨張制御チャンネルが薬物送達装置の内壁によって規定される、請求項2記載の装置。
【請求項７】
使用中、薬物送達装置リザーバ内の製剤の熱膨張に対応するために内側プラグ部品が第一の位置まで滑動可能である、請求項4記載の装置。
【請求項８】
膨張制御チャンネルと流出口との間に液体接触を提供するために内側プラグ部品が第二の位置まで滑動可能である、請求項4記載の装置。
【請求項９】
膨張制御チャンネルと流出口との間に位置する排出チャンネルをさらに規定する、請求項8記載の装置。
【請求項１０】
膨張制御チャンネルの少なくとも一部分が内側プラグ部品の外壁と外側プラグ部品の内

壁とによって規定される、請求項2記載の装置。
【請求項１１】
流出口前の流路内に配置されたフリットをさらに含む、請求項2記載の装置。
【請求項１２】
膨張制御チャンネルと流出口との間の流路内に位置する排出チャンネルをさらに規定する、請求項1記載の装置。
【請求項１３】
排出チャンネルが少なくとも部分的に薬剤不混和性の液体で充填される、請求項12記載の装置。
【請求項１４】
薬物送達装置のリザーバにプラグを挿入した後、外側プラグ部品の外壁の溝とリザーバの内壁とによって排出チャンネルが規定される、請求項12記載の装置。
【請求項１５】
排出チャンネルと流出口の間の流路内に配置されたフリットをさらに含む、請求項12記載の装置。
【請求項１６】
膨張制御チャンネルが、内側プラグ部品を通って縦方向に伸びた第一のチャンネルと、内側プラグ部品を通って横方向に伸びた第二のチャンネルと、内側プラグ部品に沿ってまたは内側プラグ部品を通って螺旋状に伸びた第三の螺旋状チャンネルとを含む、請求項2記載の装置。
【請求項１７】
第三の螺旋状チャンネルが内側プラグ部品の外壁と外側プラグ部品の内壁との接合面によって規定される、請求項16記載の装置。
【請求項１８】
プラグが、第一の端と第二の端と内側プラグ部品本体とを含む内側プラグ部品と、該内側プラグ部品を収容するように適合された外側プラグ部品とを含むプラグであって、プラグ流入口から該内側プラグ部品本体を通って、かつ該外側プラグ部品によって規定される流出口へと伸びた膨張制御チャンネルを該プラグがさらに規定する、請求項1記載の装置。
【請求項１９】
膨張制御チャンネルが外側プラグ部品によって規定され、且つ、内側プラグ部品が該膨張制御チャンネル内で滑動可能である、請求項18記載の装置。
【請求項２０】
薬物送達装置リザーバ内の製剤の熱膨張に対応するため内側プラグ部品が第一の位置まで滑動可能である、請求項19記載の装置。
【請求項２１】
膨張制御チャンネルと流出口との間に液体接触を提供するために内側プラグ部品が第二の位置まで滑動可能である、請求項19記載の装置。
【請求項２２】
流出口前の流路内に配置されたフリットをさらに含む、請求項18記載の装置。
【請求項２３】
膨張制御チャンネルと流出口との間の流路内に位置する排出チャンネルをさらに規定するような、請求項18記載の装置。
【請求項２４】
薬物送達装置のリザーバにプラグを挿入した後、外側プラグ部品の外壁の溝とリザーバ内壁とによって排出チャンネルが規定され、且つ、該外側プラグ部品の壁内の通路が膨張制御チャンネルと流出口との間に液体接触を提供する、請求項23記載の装置。
【請求項２５】
排出チャンネルが、流路を通って送達される製剤と不混和性の流動性物質を含む、請求項23記載の装置。

【請求項２６】
排出チャンネルと流出口との間の流路内に配置されたフリットをさらに含む、請求項23記載の装置。
【請求項２７】
膨張制御チャンネルが、内側プラグ部品を通って縦方向に伸びた第一のチャンネルと、内側プラグ部品を通って横方向に伸びた第二のチャンネルと、内側プラグ部品に沿ってまたは内側プラグ部品を通って螺旋状に伸びた第三の螺旋状チャンネルとを含む、請求項18記載の装置。
【請求項２８】
第三の螺旋状チャンネルが内側プラグ部品の外壁と外側プラグ部品の内壁との接合面によって規定される、請求項27記載の装置。
【請求項２９】
薬物含有製剤を保持するためのリザーバを規定するリザーバ本体をさらに含み、
該リザーバから該プラグの流出口までの流路を提供するため該プラグが該リザーバ内に取り付けられる、請求項1記載の装置。
【請求項３０】
該装置が、埋植可能である、請求項29記載の装置。
【請求項３１】
薬物が、ペプチド、ポリペプチド、核酸、およびホルモンからなる群より選択される、請求項29記載の装置。
【請求項３２】
該装置が、リザーバから送達部位に製剤を送達するためにカテーテルに操作可能に取り付けられる、請求項29記載の装置。